明治廿八年七月三日印刷
明治廿八年七月五日發行

# 婦人衛生雜誌

第六十八號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第六拾八號
目次

講演


◉衛生實驗ばなし　鈴木宗玄君
◉懷妊中の有樣(前號の續)　醫學士 増田知正君
◉虎列剌病豫防策

衛生叢談

◉臺灣熱豫防方法(前號の續)
◉個人の豫防心得
◉清潔法と惡疫
◉近年東京各區虎列剌病患者一覽
◉世界第一の撿疫所
◉牛乳と臭氣
◉虎列剌病豫防上の注意
◉米穀と健康
◉大日本婦人衛生會會況
◉廣告數件


大日本婦人衛生雜誌
第六拾七號
目次

講演


◉懷妊中の有樣　醫學士 増田知正君
◉婦人巡視員　醫學博士 中濱東一郎君

衛生叢談

◉征清戰爭に死せる我兵士の數
◉男女体格平均調
◉暹羅國の虎列剌
◉今年の疫病如何
◉各地の虎列剌
◉看護婦養成の數
◉肺病患者最も多し
◉喇叭の害(小兒の注意)
◉天然氷倉庫の封鎖
◉臨時陸軍撿疫場の設置
◉大日本私立衛生會の實地調査
◉解傭人夫病院の現況
◉臺灣熱豫防方法
◉大日本婦人衛生會景況
◉廣告數件


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第六拾八號　（明治二十八年七月五日發行）

## 講演

### ●衛生實驗はなし（二月二日於華族會館開　婦人衛生會例會）

鈴木宗玄君演説

私は今日皆樣に初めて御目に懸ります。實は私は淺學不才で有りまして、學理上の事抔は何も心得ない者で御座います。因て今日も却て御辭し申上げる方が宜しいか知らむと考へました。併し或人が此頃言ひますには、ソレでは餘り卑屈の仁で有ると思召されてはならむから出た方が宜からうとの仰も御座りました上に古人に斯う云ふ句が有る「けし炭もゆべしにつれて膳の上と」云ふ事が有るから、皆樣もなんぞ申上げたい事が有るならば、今日は御席上を汚して御話を申上げた方が榮譽で有らうと云ふ事を申されました故御遠慮申上げずに出ました次第で御座います。併し私は大家諸君の如く立派なる學理上の事、或は高尚なる事は決して申上げる程の智識も御座いませぬ。殊にソレのみならず訥辨で有りまして、且つ又斯う云ふ御席に臨みました事も御座いませぬ故、定めて御聽き苦しからうと存上げますが、暫く皆樣の御淸聽を煩します。

私の今日申上げたいと存じます事は、極く新奇の事で有ります。皆樣も御承知の通り、昨年より朝鮮の事件から淸國御征討が始まり、軍人たる御方々は勿論の事、文官の御方々迄時々戰地へ御出發になりました。是れに就きまして皆樣の御健康

上は如何か、從ッて御宅に御留守居遊ばさるゝ處の奥樣御令孃樣方の御健康に就ては如何であるやら、甚だ心配で有りますから、此點に就てなんぞ申上げて置くべきやうの事は無いか知らむと存じて、段々同業者諸君幷に世間の風說等を尋ねて見まするに、果して大に申上げて見たい事が有ります。故に私が今日申上げる通り、幾分か私の說の樣に皆樣も思召ましたならば、尙は其上の御願ひを申上げて此席を降りたいと考へます。

少しく順序を立てゝ申せば、先づ第一に支那地方に御出陣成すつた殿方の衣食住に就て申上ぐべき筈なれど、併し衣食住の中衣服或は食物等に就ては私が今更申上ぐる迄もなく、定めし皆樣に於せられましても御承知の事と考へます。又彼地の季候に就てもあんまり申上げたいと思ひまするが、是れも御承知の通り何つも日本の連戰連勝で戰鬪地の動く爲め、彼の地の音信も委しく承知する譯にも參りませぬ故ドの地方がドウで、ドウ云ふ御障りが有るか、或はドの土地がドッで有るかと云ふ事は委しく聽き入れませぬ故、今日は申上げかねますか、しかし赤十字社に勤めて居りまする小山と云ふ人は目下平壤に居るが、昨年の何月頃で有つたか忘れましたが、其書翰に、如何にも蠅が澤山に居つて困ると申しますかと思ひますると、同じ書中に朝鮮人なる歟支那人なる歟一つの腫物が出來て切つて貰いに來た、ソレを切る時に膿か出ると忽ち凍つて棒の樣になつて仕舞うとか、或は亦消毒を仕やうとしても「イルリカートル」が凍つて消毒藥が出ぬと云ふ程の極寒で有ると云ふことが書いて有りましたが、季候の事などは今日の

處では充分に申上げる事が出來ませぬから、先づ是れは後日に讓つて置きます陸軍の方からは軍醫總監石黒先生、大學よりは宇野博士岡田和一郎君等が軍時衛生視察として、彼の地に赴かるゝさうで御座いますから、定めて御實驗にある事と思ひひますから、先づソレ迄は讓ッて措きまして、第二に御家に御留守居遊ばさる、御奥樣御孃樣方の御身上は如何か、私の考へまするには、御平生と替ッて殿方は御留守で有りまするし、殊に其御留守も御平常とは違ひ戰地へ御臨みの事故、定めて御平生より一層御精神を御遣ひになる事と考へる、又ソレのみならず實際如何で御座いますか存じませぬが、御家内樣方も總じて御節儉あらせらるゝと云ふことを、屢々商人等より聽き取りまする事で御座います。斯樣な御話を承りまするに就て、私は御留守居遊ばさるゝ奥樣御孃樣方の衛生上の點は如何在らせらるゝ乎、段々唯今申上げたる處の點より考へると、平生よりは御精神を一層御遣ひ遊ばし、加之ならず御節儉と承りますれば、必ず平常より御身體の健康を害せらるゝに相違ないと考へます。然るに同業者諸君に問ねて見ると、平生でも御病氣勝ちに在らせらるゝ御方々も、却ッて此頃は御障りもなく、殿方の入らせらるゝ時よりは、餘程御壯健で有ると云ふ事を窺ひました。日々御留守中の御家事向きの事から、殿方の御身の上に就て幾層の御精神を勞され、御節儉を遊ばされて居りまして、而して御平生より御壯健に渡らせらるゝと云ふ事は、道理上から考へて、些と承り惡い樣に思ひます。ドウしましても斯くの如く精神を勞し、御節儉あら

せらるゝならば、平生より御病症が多くなければならむ筈で有ります。然るに却て御病人が少ない、のみならす、却て常より御健康で有ると云ふことを窺ひますと、誠に衛生などゝ云ふものは、要らぬものゝやうに考へますが、併ながら決してサウ云ふ事は無い衛生と云ふものは極めて大切で御座います故、なんぞ外に原因が有るであろうと云ふ事に就て、私は一つ考案を入れて見ました。ドウ云ふ處に考へを挾んだがと云ふに、今日は御精神を勞され、御節倹を遊ばされて、尚は且つ御壯健と承知致しまするが、然らば平和の時の皆樣の攝生は如何と云ふ事に考へを入れて、其處に私の想像を附加して見ました。其想像を一應御話を申上げて見たいと思ふ。少しく申上げ惡い事では有りますが、平和の時には、皆樣の御攝生が今日より却つて御惡くは有るまいかと考へる。其譯は必ず皆樣自ら御求め遊ばす事では無いが、私の考には、平生殿方の御宅に御在の時は、必ず御出入の御方も多く、從つて外に御出掛け遊ばして御歸りが遲くなられますと、御留守居を成さる皆樣方も、今日の如く御寒さの強い時でも、早く御寢みになる譯にもまいらす、夜分も遲くまで起きて被爲入らなければならむ場合も有ります。其時に唯起きて被爲入る譯にも往かむ。長起を遊ばす時にはなんぞ物を召食りまするか、或は間の食物等を幾分か多分に御取りになる處からして、遂に腸胃の御症を御起しになる樣な工合になりて、却つて御健康の害になる事か、今日に比して殿方の御在宅の方が多くは無いかと思ふ處に考へを附けまして御座います。御令孃樣方に於ても、奧樣が長

起を成さる時は、必ずソレに從つて起きて入らせられなければならぬ。左すれば間の物を多分に御用ひ遊ばすで有りませう斯樣に長起きを遊ばす間に、御食物が過ぎますする爲めに、平和の時に却つて御病症が多いのでは無いかと思ひます。古書に風は百病の長たりと云ふたが、いつぞや新聞に、口は百病の長で有ると云ふ事が出て居つた樣に承知をする。實に其の如く平生御病氣の多いと云ふのは唯今申上げた理合上から、三度の食事の間になんぞ食を御用ゐになる爲めに、自然腸胃を害するので、病症が多くなるので有らうと考へます。

私が斯く申上げましたに因て皆樣方も幾分か成程と云ふ思召が有りましたなら、今後殿方の御歸り遊ばした時でも、長起の無い樣に致したい。長起を遊ばすこともなく、規則を立てゝ、御寢みよなりましたならば、間の食物等も從つて減じ、少なからぬ節儉になります。其節儉が却つて今日の健康となる事であつたならば、啻に今日の場合のみならず、永世迄も斯くの如き御節儉と願ひたいと考へますので御座います。而して此御節儉が健康となり、且つ衛生の爲めとなりましたならば、尙は皆樣に申上げまして、此婦人衛生會に、御節儉あらせらるゝ處の幾分を紀念として積み、此處に一つの積立金を願いたいと考へますが、余り御話が細く立ち入る樣なれど、實は私も我區內に於て區長より頼まれまして、赤十字社の世話役を致して居りまするが、昨年開戰以來は人々に赤十字社に入會を勸めます事に盡力を致しました。其時に或區內の方で御座いますが、赤十字社は大抵皆樣の御承知の通り、年に三圓宛出せば、赤十字

社の正社員になれるのであるに、或人は、眞に今日の際故如何様に儉約をしても速かに御受けを申上けませう、而して三圓六十錢宛差出しますとの事で有りました……私には、三圓六十錢と云ふのが一向解りませぬ故、ドウ云ふ御考へで三圓六十錢を御出し下さいますうと問ひましたるに、其人の申すには、日に一錢宛金を積んで置きますと一年には三圓六十錢になるから、是れをは赤十社に納めませうと云ふ事を申されましたので、私は誠に感心致しましたので御座います。

デ此御會に於ても、先きに申上げましたる御節儉が壯健の種となることならば、是れをば健康の紀念として、會員の御方々から一錢宛御積立てなすつて戴きたい。日に一錢と申しても、假に本會會員を五百人と定めて見ますれば、日に一錢宛積みはした處の金はドレだけにあるか、丁度一ヶ月で百五十圓で有ますから、一ヶ年の積立は千八百圓になります。ソレを五ヶ年程積み立てゝ下さいまするど九千圓ばかりになる。斯様にしてせめて一万足らずの金が出來たならば、隨分此會も一つの業を起す事が出來るだらうと考へます。何卒斯の如く五ヶ年か六ヶ年も積立てゝ下さいまして、而して此會に相當の資金が出來たならば、一つの有益なる事業を起して此會を萬古不朽に續けたいものと考へます。

事業はドウ云ふ事を起したら宜しふ御座いませうか、下等人民の爲めのみを計つて戴きまして、皆様に御利益の無いやうな事でもいかゞと存しまする故先つ第一には皆様の御利益になるやうな事を專一とし、傍ら下等人民の幸福になりまする様な

事、大きく申上げて見ますれば大日本國の、是れに因て將來益々强國と稱せらるゝ程の事にもなりまする樣な一つの事業を起したいもので有る、此事に就ては私も種々考へて見ましたが、愚案には皆樣の思召に適しか否か分りませねど私は前に申述べた趣意に適ひまする事業は何かと申しますと產婆の實驗所と云ものを御設立に成らむ事を企望致します。皆樣も御承知の通り、現今でも本鄕の大學內、或は駿河臺などにも產婆を養成する處は有ります。其他內務省の試驗を受けて、三ケ月も學問をすれば、直ちに卒業免狀を取りまして忽ちに產婆の招牌を揭げて居りまするが、ドウも余り經驗に富みました產婆は數が少ないやうに考へます。元來產婆と申しまするものは、最も大切のもので有る大切故に成るべく實地の經驗に富みたる者を養成致したいもので有ると考へます。何故產婆を養成するのが皆樣の御利益になるかと云ふに、皆樣も御承知の通り、昨年來總べて小學校などに於て、席順を革めまするに當て學問の優劣に關せず、體格の成長を第一として席順を定めたと云ふ樣な事を聽きました。是れは何かと云ふに、成るべく體格の充分なる人を養育し、而して學問を勸めたいと云ふの趣意では無いかと考へます。唯今申上ぐる通り產婆はドウ云ふ爲めに、實地に富んで居るものが必要で有るのかと思召されるかも知れませぬが、實際御產婦樣と云ふものは醫師から攝生法を申上げても、兎角皆樣の方からは御遠慮勝ちで、醫師に充分の容体を仰せらるゝと云ふは稀れなる事で御座います。ソレ故私は何卒れ產の時には充分實地に富んで居りまする

處の產婆を傍らに御置きになつたならば、却て醫師より伺ふよりは、產婆あれば何の御遠慮もなく、御容体も御打明け成さらるゝで有らうと思ひます產と云ふものは、常に患ふて居らるゝ病氣も、產の爲めに治はる事も有り、或は之に反して、御產蓐中に御注意の屆かざりし處より、生涯に病氣を遺すやうな事も往々御座います。ソレ故に私は產婆實驗所なるものを設立して、充分に產婆を養成し、實驗に富みました處の產婆を以て、充分に御注意を申上げたならば、產婦は勿論誕生の稚兒も、御無事で健康なる事は御請合を申上げるで御座います。又第二に裨益せしむる處の下等人民の幸福、是れは皆樣の御承知の無い事で有りますが、我々共が患者を扱ひまするときに此感情を抱きまする故序でに申上げたいと心得ます。寒氣の候に貧困者が分娩致しましたときの狀態は如何で御座いますかと云ふに、一向障りも無い、如何にも健康の子供を生みまするか、一つ困りまする事は、其子を掩ひまする衣服が無い、故に僅かに汚穢い襤褸などか、古い單衣の樣なもので、其子を包んで置きまする故、幸に病いは無く誠に健全なる小兒でありましても寒さの爲めに凍死すると云ふ事は屢々相見る狀況で御座います。ソレ故前に申しゝ處の產婆實驗處、並に斯くの如き貧民の生兒を救ふて下さいましたならば、切角生れ來たりたる者が凍死するの患ひもなく、健かに成長する事が出來るだろうと思ひます。若しサウ云ふ時期に際會しましたならば下等人民の幸福は誠に大いなる事で有ります。

第三には、大きく申したら强國と稱せらるゝと申

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上げましたのは、下等人民を救はるゝやうになれば從つて凍死者も減じ、小兒が成長する事が出來ますれば、其父母は勿論他の家内の者等も、心を安くして職に就く事が出來まして、ソレ〳〵働きまする時には則ち國も富んで參りまして、亦今日の如き多事なるときは、健全なる兵士が澤山に在つて戰場に効を奏しますから、我日本の愈々強國となると云ふは保證をする事が出來ます。加之ならず婦人衛生會で斯くの如き事業を起して、實地に遊ばして戴きましたならば、此衛生會の光榮は萬世迄輝く事であらうと考へます。今日は是れで御免を蒙ります。

## ◉懐妊中の有様（前號の續）

醫學士　増田知正君　演説

偖て御婦人が妊娠を致しますると、其時より月の障りはなくなつて仕舞ふ者で有まして。今迄整然と間違ひの無かつた月經がハタと止まつたと云ふのが妊娠の第一の證で有まして其からといふものは妊娠中はからだの容体が一体に違て參ります。去れば常には活潑の人も場合に依ると、非常に沈鬱して仕舞て人に面會するのも厭ひ人と談話をするのも嫌つて、只一室に閉ぢ籠つて鬱々として居る樣になる人もあり又反對に平常は非常に出嫌ひで沈鬱なりし人も俄に活潑となり談好きとなつて無暗矢鱈に外に出たがるやうになることもある。其他なは頭痛眩暈或は嘔氣が起ることあり、動悸がすることあり、鼻血が出ることあり或は時々熱くなりまたは、寒くなることあり、或は腰が痛み又歯が痛むといふ樣にいろ〳〵の事が起つて參り

ます。ソレから猶甚だしいのは惡阻と云ふことが既に一ケ月の末頃より起て參り、二ケ月又は三ケ月四ケ月までも病むことがある。時には七八ケ月位ゐまでも惱む人があります。又時には二夕月三月位ゐから起つて程なく愈る人も有りますが、又稀には妊娠中ズツト引續て起て居るも有ります。此惡阻になると却て空腹の時分に多く水の樣なものを吐く者で有まして又何でも喰した者は皆吐して仕舞ふ者で有ます甚しいのは只臭ひを嗅いだばかりで吐き、食物の話を聞いたばかりでも吐き、看たばかりでも吐き、御臺所に魚屋が參りましたなど丶いふ下婢の聲を聽て忽ちムカ／＼と嘔吐を催ふすといふやうの人もあります、又或は人嫌ひをして氣に入らぬ人が來ると嘔氣を催ふすとか或は煙草の臭がいやで、煙草好きの人が來ると急に吐氣を起すと云ふ樣なことがありて、傍の人が大きに迷惑をすることがあります。又始終食物嫌ひをして、是れまで好きであつたものがいやになり、今までトンと望まなかつた物が俄に好きになつて來る。なほ甚だしくなつて來ると、壁土、炭、線香などを食ひまして、御隱居樣などが佛前で線香が大層早く無くなつて仕舞のを驚いて居ると、豈計らんや妊娠した御嫁さんが内々食べて仕まつたのだと云ふやうな面白いことがある。かくの如くなか／＼奇妙な有樣を呈しまする者で有ます。

其他身躰上にも種々の變化が現はれる者で有りままして皮膚なども大へんに變化を起して、顏殊に鼻の傍、眼のまわり額際などに黑ひ斑点が出來て參り。又首筋より胸の邊にもサう云ふ斑点ができ

て來るものですソレから腹部の中央に縱に黑い線が出來て、乳房は大へんに大きく膨れ温氣を増して參り乳頭乳暈など同しく黑色を帶て參ります又此乳房にも又腹部上脚などにも、能く視ると、赤い小さい線條が澤山現れて來る此は皮膚が笑割れて出來るものでありまして度々御産をした人には、前の時に出來た者は白くなつて、又新たに出來た者は赤ひ色をなし赤白打交つて見ゑて居りますソレばかりでなく、胃部腹部上脚部の邊は肥つて參り。場合によると襟筋肩等の瘦せる人ある。又皮膚には水氣が起て來ることがあります。昔の人の云ふには、妊娠中の水氣は憂ふるに足らむ御産さへ濟めば治る者だなど丶申して濟まし反つて居りますが是れは間違の兀頂で妊娠中の水氣程恐るべきものはない。輕症の者なれば隨分自然に癒りも致しますが、重くなると大に害を爲し是が爲に胎兒ばかりでなく母体までも遂に不測の淵に沈めしむる樣の憂を招くに至る者で有ります。又大便は秘結し小便は大へん頻數となる樣の事も有ます。サウ云ふやうな工合に、身体の上にも妊娠中は常と有樣が違つて參ります。

此妊娠の全經過はどの位な長な者で有かと云ふに平均二百八十日として有ます尤も場合に因て、ソレよりは猶早く生れることが幾らも有ります。二百八十日は月に致しますると、十ヶ月（但し四週間を一ヶ月と計算しまして）、週にして數へまするど四十週間、是れが即ち産の經過で有ります。人間のは右の如く四十週—二百八十日—即ち十ヶ月で有ますけれども動物などを調べて見まするど産の經過に大へん違ひがあります。而して體の小

さい動物程妊娠の經過が短く、大きい動物程長くかゝる樣に見えます。某動物學者の調査に據れば、南京鼠が三十日、猫は五十六日、犬は六十日、豕が百二十日、牛は二百八十五日（即ち人間よりは五日多い）馬は三百四十日、駱駝は四百四十四日、象は六百二十五日、（則ち妊娠してから大凡二年を經過して分娩する）斯う云ふ風に大きい動物程、産の經過が長く、小さい程短い。然れば人間にも多少身体に大小の差があるから、其妊娠經過の上に於ての差はドウかと云ふに、是れは餘り著しき程の大差はなく大抵は同し樣で有ます。然し大きい人は妊娠の經過が長いのではないが、小さい人に比較して見ると小さい人の方が少し早く産をする樣に見えます。併し僅かに數時間か乃至は一二日の差のみて有ます、塲合に因つては一週間位ゐの差の出づることも御座います。けれど此は他に何ぞ障りの有つた時然るので有ます。

斯う云ふ工合に胎兒は母の胎内に於て發育して居る。而して胎兒が胎内に這入つて居る間は、母親の身体の狀態は如此く違つて參ります。斯う云ふ次第故、妊娠中は一層謹んで養生をしなければならぬ譯で有ります。今も昔も異りのなけれどものゝ本を見まするると胎敎と云ふことがありまして殊に支那風に行ますと、妊娠中は其身を謹愼するために、六ケ敷い戒を立て之を嚴しく守らせました。烈女傳などにも「寢るに側せず、座するに邊せず、立つに蹕せず、邪味を食らはず、邪色を見ず席正しからざれば坐せず」などと云ふやうに大層六ケ敷い規則を立てゝあつた位ゐで、其外女庭訓、女大學等にも婦人妊娠中の誡めが六ケ敷く



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

書いてあるが是は則ち昔の妊娠の養生法で有りまして私なども是れは大そふ善い事と考へまする。ソコで又昔しから妊娠は病氣ではない、病氣でないから大抵の事はソレ程心配して騷ぐに及ばぬと云ふ樣なことをも云つて居りました、成程此は一理ある樣に聽えるが然しよく考へて見ると妊娠は病氣ではないが、殆んど病氣と同じ樣な容体になつて居ます。則ち血液の循環の工合、生殖器の有樣並ひに其他身体の作用が悉く平日とは違つて居る。固より妊娠中は己れ一個のからだばかりではなく、からだの中にもう一ッ別のからだが這入つて居る位ゐの事故、總ての關係が違つて居る譯であります。故に其間に少しの過失でも有つて御覽なさい其こそ、非常の事になつて、單り妊婦のみならず胎兒にまでも容易ならぬ影響を及ぼすことになるので有ますから、余程注意をしなければならないのであります。併ながら日常の生活法を更めて、妊娠中は悉く一變せしめねばならんといふ譯では有ませぬ害にならぬ以上は平常の事は平常の通りに致して置て只注意すべき處にだけ、注意をすれば宜しいので有ります。其中でも最も注意しなければならぬのは第一に飲食物で有ます其の中でも食物は余り多過ぎては宜くないが、ト申して又た少な過るのも往けません。食物が少ないと、胎兒の榮養に缺乏を來たす恐れが有ります。元來妊婦は獨り其の身體を養ふのみならず胎内の子兒をも養はなければならぬのでありますから、非常に食を減じ過ぎると宜しくありませぬ故に滋養を必らず適宜に取らなければなりませぬ。爲し又飲食其の度に過ぐる時は分娩に大害をなすこと

もあります故飽食は亦た愼まねばなりません其食物も平常慣れて居る物を、俄かに更へるのは宜しくない者ですから、成るべくは從來慣習して居つたものは其儘に續けて、其中から滋養物を取り、あしきものを捨てるといふ樣にした方が宜しい。日常の食物の中でも總て淡泊の物が宜しいですから米は無論惡いことはない、麥や粟なども害なく麪麵なども宜しう御座います。魚類も成るたけ淡泊の物が宜く、脂肪の多いものは廢した方が宜しいのです。例之ば比目魚、鰈、鯛、牛尾魚と云ふやうなものは宜いが、鰻、鮪、鰮など丶云ふやうな脂肪の多いものは消化あしく下痢を起し易き故に、食べない方が宜しい。其外消化の惡るい貝類、章魚、烏賊等は宜しくなく。又干魚。鹽魚も消化が惡るいから成るべくは食べない方が宜しい。獸肉鳥肉の類も決して惡いことは有りませんが是れも脂肪の多いものは廢した方が宜しい、野菜物も腹胃の中に溜るものは宜しくない、例之ば大根、蕪、甘藷、芋、南瓜、慈姑の如きものは腸の中に入てから風氣を釀し易いもの故差控いたが宜しい、又獨活芹と云ふやうな小水を澤山出すやうなものは、矢張り廢した方が宜しく、又酸味の激い梅、蜜柑ザボンと云ふやうなものは食べない方が宜しい其他非常に辛いもので、胡椒、山葵、山椒、芥子、蕃椒と云やうなヒリ〳〵とする刺激性のものは障害を起します故必らず喰せさるを宜しとす芥子などを多く食べますと、流產をするやうな事がありますから、注意しなければ往けませぬ。次に飲物の中で、飲んでも差支ないのは湯、水です。だが水は成るべく一遍沸騰して冷ましたものが宜

い、殊に麥湯などは、極く適當して居ります。茶咖啡なども濃過ぎるものは宜しくないが淡いのなれば宜しう御座ります。酒類もブランデー燒酎、泡盛のやうな烈しいものは宜しくないが、常に少し宛酒を嗜む人は、全く廢めると、からだの工合が違ひますから、少し宛は飲んでも差支へない。其他何は如何樣なる滋養品でも妊婦が食べて、吐氣下痢又は便秘などを起すやうなものは、食べない方が宜しいので有ります。

ソレから衣服は、成るたけ寛かにして、窮屈ならす又温かに過ぎす薄衣に流れざる樣に注意し紐や鈕などにて身体を堅く締めるのは甚だ宜しくありません。皆樣方も巾廣の帶を強くきりッと御締めになりますが、あれは妊娠中は甚だ宜しくありません。何故なれば呼吸及ひ血行を妨げ從て胎兒及母体の發育を妨げ大害を起しますから妊娠したならば帶は必らずゆるくし、西洋服ならば例のコーセットや彈力強き靴下などは着けないで、身の周圍は寛やかにしなければなりません併し腹帶を纒ふのは、最も必要であります。昔腹帶を着けたのは、何の目的であるかと云ふに、いつも神功皇后の古事を引て胎内の小兒が育ち過ぎないやうにと云ふのであるが、是は近來の學問上から申すと大に目的が違つて居る。元と胎兒は充分に育てば、時至りて自然と生れて來る者で有ますから、腹帶などでその育ち過ぎるのを防ぐなどゝいふ必要は有ません、本來を申せば第一に腹部を温になし子宮及胎兒を善き適當の位置に支へ轉倒などした時でも強く動搖を受けぬ樣又腹部に程能き締りを與へ妊婦の身体運動を容易ならしむる等の爲に腹帶

を纏ふのでありますソウいふ譯ゆへ決して細い紐などで締ることなく、必らず巾廣の布で、一体に平等に締めて置かぬと往けませぬ。其布は成るたけ温くするのを目的とするのでありますから、フランチルか、厚い木綿の布で適宜に締めなければなりませぬ。ソレから妊娠をしますると、腹部が大きくなる、サウすると衣服が狹くなつて、衣裾の方で開き易く風などが當り易くして、腿の邊や下腹などが冷えますから、是れも是非防がなければ矢張りからだに障ります、去ればソレを防ぐには、股引の如きもの、又は猿袴のやうなものを着又はフランチルの長き褌を纏ふなどは至極宜しいことで御座ります。

次に注意すべきは清潔法で御座ります前申す通り都て妊娠中は物嫌ひをする樣な事が有る位ゐ故、身邊は總て清潔にしなければなりませぬ。室内は空氣の流通を宜くし不潔の物は取除いて、惡臭などの無いやうになし。ソレから又成るべく大勢人の集つて居る樣の處には往かない方が宜しい成程其の塲處は不潔ではないかしらないが、空氣が不潔になつて居るから、その空氣を吸ふ時には忽ち精神不快を覺え眩暈を起し、或は倒れなぞすることが有ります故に、余り混雜の中には往かぬ樣にするが宜しい、縁日歩行寄席劇塲などは宜くないのです。其他衣服は常に清潔になし殊に襯衣は始終取換へて清潔にして置ねばなりませぬ又身体も清潔にして、毎日一回でも二回でも入湯して垢を去り殊に下の部は毎日二回でも三回でも下湯をして洗つた方が宜しう御座います。入浴の事に附て大へんに必要の注意が有りますが。ソレはなに

かと云ふに即ち海水浴のことで有ります近年は非常に海水浴が流行して、少し弱い人は海水浴、病氣があつても海水浴、妊娠しても海水浴と云つて利害の如何も顧みず良もすれば直海水浴に往くと云ふ様の狀態でありますが、あれは元來大なる誤りであります。平素海濱に住み慣れた人ならば少しのことは海水浴に入つてもさして障りも致しますまゐが都に居つて、常に荒い風にも當つた事の無い人が、滊車に搖られて海濱に出掛け、急に荒い風に當つて、ゾクリとし冷い波浪に當て喫驚し又身体強く冷るが故に忽ちからだの調子か狂ひ出血を起し流産を招く様のことに立至ります近年よく妊婦が海水浴に往つて、流産をすると云ふことは之を耳にすることでありますから、必らず謹まなければなりません。併し海水浴も、温湯に沸して浴するならば甚だしき障りは有ません。海水浴のみならず、總べてからだに冷めたいものを附けるのが宜くないのですから冷水で身体を拭くのもあしく入浴の時など隙風に衣服を着換へるときにも温かなからだに冷めたい着物を直に附けるのも宜しくないことですから注意をしなければなりません。乳房も之を不潔に致して置ますと乳頭の部に糜爛や裂創などが出來まして小兒に哺乳させることが出來なくなりますから御産の時が近寄りましたら日々二三回つゝ水か微温湯にて之を洗ひ又は燒酎かブランデイーか又は葡萄酒の類にて毎日之を拭ひ其の部の皮膚を丈夫にして置ねばなりません、又乳頭が扁平にて突出せざるか、又は凹みて乳頭の形かくれ居る時は毎日之を摘み出して引き延ばし哺乳に適する様に用意を致し置くのも

## 懷妊中の有様

亦た肝要の一ツで御座ります。次に大切なる注意を要しまするのは精神感動で有ります昔からの誡に妊娠したら火事を見てはならむ、悪しき物は観てはならむ、淫らしい物、恐ろしき物を看たり聴たりしてはならぬと云ふやうに云て有りますが、實に其通りで、譬へば演劇を観るにしても、寄席のはなしを聴くにしても、又或は講談を聴きましても、強く精神を感動せしめる様な事は可成避たが宜しいのです。精神の感動が過度に往くと、胎兒發育の障りになりますのみならず時には流産の原因となる様のことか起ります。故に悲みは勿論憤怒し恐怖も余程慎まねばなりませぬ。斯の如く精神感動は妊婦自らも謹まねばならぬもので有ますが又家に妊婦の在つたときは、傍らの者も妊婦に對して、ソレ〴〵注意をし感情を激せぬ様に致さなければならぬ譯で御座ります。

ソレから運動は妊婦に極めて必要の事で有ります妊娠をしたら、成るべく適宜の運動をするのは宜しいので有りますが併此の運動を取違へて居る人が世間には往々在つて、妊娠中は運動をしなければならぬと云つて或は温泉に連れて往き、或は海水浴に誘ひ出し或は殊更に遠足などをし、或は家の内の仕事を無理にさせたり致す様の人が有まするがあれは大きな間違ひです。適宜の運動は極く必要ですが、過度の運動は却て害を爲す者で有ますト云つてぢつとして居るのは尚は悪いのです。若し家の内に籠城ばかりして居て少しも運動をしませぬと、血液の循環充分ならず精神が沈鬱するとか、或は便秘を起すとか、頭痛を起すとか食氣が減しるとかいふ様のことが起ります。故に天氣

よき時庭先きを運動するとか、閑靜な處を逍遙するとか云ふことは最も宜しく是が爲に食氣進み氣分も爽かになる者です。併し過激の運動は惡い。例之ば山坂を上下し沙砂場を車で往復するとか、或は度々梯子段を昇降するとか、重い荷物を提げるとか重い牽出しを明けるとかいふことは御腹に力がは入るとですから大へんに惡い其の他又馬に乘るのも惡いのです。併し日本では婦人が馬に乘ることは余りない、けれども田舍に往くと、時として馬に乘つて居る婦人を見受けます。舞踏なども矢張り宜しくないのです。總てサウ云ふやうな過激の運動は謹まなければなりませぬ尤もたとへ輕易の運動とても餘り長く之を續け身体の疲勞するに至るまでするのは宜しく有りませぬゆへ何事も適度に致さなければなりません」睡眠は同しく欠く可らざることで有りますが是も餘り多く眠り過ぐるのはよろしからず殊に午睡を貪るなどは甚た害あり愼まねばなりません通例八時間も眠れば充分で御座ります

其の他身体の上に就て日々注意しなければならぬことは便通の善惡で御座ります勿論是は自身で其の程を考へつゝ注意しなければならぬ筈ですが可成便秘しない樣にして居らねばなりません大抵妊娠をすると便秘を起し易いものでは有りますが毎日必らず一回つゝは無くてはなりません遠くても二日に一回位つゝは來る樣にして置ないと惡いのです、去れば五日も七日も十日も無い儘に放置のは至極宜しからぬ事で御座ります。妊娠中でなくても兎角婦人は便秘の癖がありますから、常に是れを注意し毎朝空腹に、鹽水若くは素湯を湯呑

に一杯つゝ飲み又或は牛乳を一合つゝ飲むとか、又或は熟したる無害の菓物を食べまするさ、大抵好い加減に通じが附きます。或は青い野菜物を適宜に食しましても通じが宜くあります。サウ云ふ樣に、自ら養生をして、而して妊娠中は自分のからだの攝生、一つには胎兒の發育、障害の無いやうに注意しなければならないので御座います。

猶其外にも御話をする事はいろ〱ありますが下手の長談議に御太屈を招くも恐れと存じ今日は是だけにして置くことゝ致します。ソレで此處に胎兒を比べて置きましたから御順に御覽下さるやうに願ひます。(壜中のアルコールに漬けたる一ケ月より十ケ月に至れる拾數個の胎兒、幷に蠟製の諸摸型品を示さる)又先刻御話をした卵巣幷に卵は爰に顯微鏡の下た照してありますから、御覗きにありますと、前に述べましたことが詳しく御了解にならうと思ひます。(終)

## ◉虎列刺病豫防策

左の一篇は山根警察醫務長の衛生演説會に於て爲されたる談話なるが時節柄大に衛生上に稗益少なからさるを以て今之を左に掲ぐ

### 清潔法

私しの今日皆樣に申上ぐる所のお話は別段妙ある味ひはありませぬが、今日お話を致ます大眼目は即ち清潔法を十分にせねばならぬと申すのであります、之を標準として順次にお話を致す積りでありまする、故に冒頭に題意を明かに致して置きます、諸君、只今申しました、清潔法と申す事は語を換て申しますれば惡疫の流行を豫防せよと申すと

と同じ意味であります、借て私は此コレラ、目下既に日本國を襲ひつゝある所のコレラ軍と以前戰爭した事がありまする、故に其實驗と又此コレラ軍に就ての歷史と兩つながら併せて、お話し致しまして、演題の意味を明かにしやうと思ひまする、一寸茲に一つ申して置度ことがありますのは、落語家が能く申しますが、病には色々種類がありまして昔から四百四病と申しますが、中々四百四病どころではありません、就中個人的の疾病と國家的疾病とがありまする、即ち彼の六種傳染病、コレラとか赤痢とか腸窒扶斯とか其他三種の傳染病の外に又「ペスト」と云ふやうなる病氣は即ち國家的病氣でありまする、即ち傳染病は國家的病氣でありまする、所がコレラに於きましては、今迄の歷史家が能く其病情を形容して居りましてコレラ病の事を、虎軍だのコレラ軍だのと、書いて居ります、如何にも慌ましい形容でありまする、此コレラ軍が整々の陣を張つて、堂々たる旗を押し建つて、一國を襲ふて來ました時は即ち一國が病氣に罹つたのでありまする、そこで此國家的病氣を治療するには一國が全力を注ひで、施術をしなければありませぬ、從つて一村のときは一村、一區のときは一區が其手當をしなければ、ならぬと思ひまする、諸君よ此コレラ軍なるものは、何人が指揮して居るでありましやうか、是には指揮大將がある、何云ふ大將が此コレラ軍を指揮して居ると云ふに、私は既に其司令官には狙ひを付けて居ります、即ち不潔と申す總指揮官が居る、コレラ軍の總指揮官は實に不潔と云ふものでありまする、そこで私は此不潔と云ふ總大將を生捕りま

して其首を獄門に梟したい覺悟で居りまする

借て是より愈々歴史談に移りまする、此恐るべき病氣が、日本へ襲ひ來ました起因を尋ねて見ますると昔即ち紀元前より印度の「ゲンゲス」「ブラマプトラ」と申す河がある、此河の邊りの濕つぽい所では始終流行して一つの地方病となつて居りました、其事に就ては紀元前よりあつたと云ふとは佛書の中に其由來が書いてありまする、西洋に此病が知れたのは、何時頃であるかと云ふに、千八百十七年の頃、英國の「ヘスチング」と云ふ將軍が印度を征伐に行きました時に、此軍隊が、此病氣に罹りました、其時此病氣の爲めに襲はれて僅か五日間に死んだ者が五千人であります、なんと澤山な數ではありませんか、ドツナ弱い大將でも五千人の兵隊を殺して戰爭をしたからは、城の二つや三つは乘取れんとはありますまいと思ひます、斯くてコレラと申す名が西洋に知れました、即ち其翌年に於きまして千八百十八年追々諸國に傳播しまして印度の隣りの「ペルシヤ」を越へて「アヌトラハーン」と云ふ方に向つて參りました、夫より七八年を經まして露西亞より漸々彼地此地に侵入して獨逸、佛蘭西の方角に流行を致して參りました、佛蘭西の如きは五十ヶ年の間に六回の大流行がありまして、其都度大凡十四萬人づゝ位は生命を奪はれたのでありまする、今の清國即ち支那に於きましては丁度コレラと同じ沙病と申す病がありました、御存知の通りに支那と印度とは國が北續きであります、故にコレラの傳播も西洋や日本よりも早かつたと云ふとは地理學上自然に證明されますのみならず、又事實も歴然として居りま

する、此病氣が日本に於ては何時代に這入て來たかと云ふに、元祿十二年初めて發生したと云ふとでありまする、即ち西洋曆で千六百九十九年でありまする、今を去る事百九十六年であります、併し是は確には分りませぬ、左樣云ふ事が書いてありますけれども確にコレラであつたかと云ふ事は證據立られない、又正德六年の頃に流行したと云ふ事でありまする、之れも愈々此病氣であつたと云ふとは分りませぬ、然るに今を去る七十年前文政五年に於きまして初めて「トンコロリ」と云ふ名を以て大流行をしました、恐ろしい慘狀を現はしたものでありまする、抑も此病氣が發生した初めは何所かと申すに、布哇より長崎に來ました和蘭の船より持つて來たものでありまする、其後三年間程流行した事がありまする、即ち安政五年より流行しまして萬延元年の末に漸やく流行が止みました夫より以前にもヒルシと云ふ地理病學には千八百卅一年の頃即ち我天保二年に日本にコレラ病流行すと記してありまする、安政四年より二年程前に和蘭人が長崎に來まして我が日本政府に申したとがありまする、其蘭人の曰く布哇及び其近隣の島に於ては永く雨が降り續いてコレラ病が流行したと申しました果せる哉丁度安政五年五月初めて長崎にコレラが發生しました、僅か一ヶ月の間に忽ちにして此の江戸へ傳播しました、八月の上旬より中旬迄に死人は百千を以て數へられました、夫れで此時死んだ者が江戸許りでも二十八万人餘でありました其當時町奉行より書上げにありたるは安政四年の八月一日より九月十九日まで即ち四十九日間に各寺院と燒場で取扱ひたる數であ

ります、町奉行より書上になりたるには十人以下埋葬になりたる寺院は省くとありました、多數の寺院でありますから夫計りでも餘程の數にあるだらうと思はれます、此外に又全治した患者も數十万であらうと察せられます、丁度江戸の住民の殆ど半數位であつたらうと思れます、畢竟するに其當時は衛生上の道理に人々が暗くして豫防法が能く行屆かなかつた故に比較的多數の人命を殞じたものであろふと思ひます、其一例を擧けて見ますと一人の病人がありまするると多數の親類が悉く其處に集りまして見升とか何とか申して飲食を爲す等のとでありまする、是等は即ち丁度病毒の媒介を爲すと同じものであります、斯の如き事からして段々と傳へて十數万の人が死んだのであります。

其後下つて明治十年に至りまして流行しました、恰も西南戰爭即ち西郷の亂の時でありました、此起りは最初九月五日に神奈川縣に女子が二人發病しました、此女子等は外國人の所に雇はれて茶を製造する所の人でありました、夫れと同時に長崎に於きましては船頭が一人發病しました、此二つのものが、發病の發端でありまする、夫れは如何云ふ所から其病毒を持來り其二人の女長崎の船頭が罹つたかと云ふに神奈川縣に於けるものは厦門より來る船の中の荷物に病毒が含まれて來たのでありまする、夫から長崎に發病したのは英國の軍艦がコレラの死体を上陸させて埋葬したのが發端であります、夫よりして折角西南の賊を平げて凱旋して歸る將士達が歸途を襲はれ澤山に是れが爲めに斃れました、戰爭には勝ても此虎軍には勝ず

とが出來なかつたのであります寔に當時を追想すれば遺憾の次第でありませぬか、諸君戰爭の後には種々の原因よりして種々なる病氣が流行します彼のクリミヤ戰爭の時に於てもコレラ病が流行しました、此戰爭のありたる地方は如何云ふ所であつたかと云ふに低き地にて大洪水がありたり、氣候の不順でありたり、した所でありまして夫れに連れて病勢猖獗を極め非常なる慘狀を呈したものでありまする斯等の事は皆立派に歷史に書てありまする、明治十一年にあつては餘程僅少でありまして一月より六月まで全國に僅か百六人の外なかつた、併し是は內務省の表を調べて見ましても是亦類似コレラであつたらうと書てあります、其後八月頃に至つて英國の船が病毒を長崎へ持込み夫から長崎熊本近傍に流行したと云ふ事でありまする、夫より十二年は三月十四日に愛媛縣に於て始めて發病しまして日本全國此病氣に罹らない所はなかつたのでありまする、其年は隨分十數万の人が此病に罹つたのでありまする、此起因も矢張り英國の船が上海より持來つたのでありまする、要するに明治十四年十五年即ち千八百八十一年二年の頃と云ふものはコレラ軍が遠征の時代でありました、東洋となく西洋となく夫々皆此病毒に罹らない所はなかつた、西洋も襲はれ東洋も虎軍の爲めに襲はれたのでした

明治十八年十九年は日本に於る第五回の大流行でありました、私は此十八年十九年の頃は長崎醫學校に奉職して居りました私の最もコレラ軍と苦戰をした時でありました其時は私は死体を解剖した事が十八人程ありました、幾分か其病理も研究し

て見ました、抑も此十八年七月下旬に長崎に初めて發生した其起因は淸國と佛蘭西との戰爭がありまして、彼澎湖島にありし佛軍の大本陣を此虎軍が襲ふたのでありまする、即ち澎湖島は我遠征軍士隊の行て千有餘人斃れた處でありまする、夫れで佛蘭西の軍艦や英國の軍艦が其澎湖島から續々長崎に來まして、水夫の屍を大浦と云ふ所の山の上の墓地に埋葬したのが發端であります（未完）

## 衛生叢談

### ●臺灣熱豫防方法（前號の續）

吾等の注意とは隨分繁雜なりき乃ち左の如し。風呂の温きものに入るを忌む○初め最も熱きものが漸々冷却したるは宜し（病毒は高熱に因りて死す）○水を加へて冷すを忌む風呂の水は漸く口腔等より躰中に入るものあり○冷水を飲まず、沸湯を冷して用ひたり（但し冷水を注加して冷すを禁ず）○朝起盥嗽の際に於ても亦同樣なる冷し水を使用せり○飲用の器物を洗ふとき小使をして同樣なる冷し水を用ひしめたり（冷水、井水を其儘に用ふるときは或は病毒が器物に附着し居りて偶、人躰中に入らむことを畏れたりしなり）飯椀、汁椀等、凡て陶器ありき、是は消毒し易し（消毒とは沸湯を以て洗ふを謂ふ）○生物を食せざりき。以上

是は單簡なる如くなれども甚面倒なり○第一理に明るき小使を要す、第二主人が自ら嚴重に之を監督するを望む○非醫者、即ち軍人等殊に最高位に在る人の如きは此等の小事（醫者よりは大事と看做さる）に頓着し居ること能はざるなり、是非

もなし○四躰の創傷部より病毒の侵入したる實例多々これあるもの丶如し○創を有する足にて河水を渉るを忌むべし○萬事萬端好く熟考を加へて冷水(清濁に關せず)の間接に或は直接に吾人の躰中に入らざる様注意するを欲するのみ○終に一言す○支那人は決して冷水を飲まず○横濱に於ける支那人はコレラ病に罹ることなし或は極めて稀なり○此の事實は夫の有名なるコッホ氏の學説に對し好材料なり○夫の不潔なる支那人にして此の幸福を享く實に奇なり、否、奇ならず(自然彼等の生活冷水を飲まざること)は豫防法の學理に協ひ居るなり○近時、澎湖島のコレラ病も亦本邦人のみを侵したり住民(冷水を用ひざる者)は全く之に感染せざりしと云ふ○此等の點最も當路者の注意を要す云々

## ◉個人の豫防心得

虎列剌は專ら消食機の媒介に依て傳染し接觸呼吸等より來るものにあらず故に十分飲食物に注意すること最良の心得なり且つ消食機の健康なるものは或程度迄の黴菌即ち病毒は假令之を輸入することあるも能く撲滅し得る力を有す偶かの平素壯健者が一朝不消化物の暴食に依りて直ちに發病するが如きは全く一時消食機の不調に乘じて黴菌の發生を速ならしむるに依るのみ故に平素左程健康ならざるものも常に飲食に注意して胃消化力の平調を維持し居らば殆んど傳染の不幸を免るゝことを得べしといふ且北里博士は此頃コレラ病に對し血精療法を以て免疫するの方法を攻究中なりといふ

## ◉清潔法と惡疫

警視廳にては過般各區の下等社會即ち貧民部落に對して干渉的清潔法を施行したるが其結果は著しき効能を見るに至れり即ち去る廿六日迄の調査に據ればコレラ患者は中等社會即ち清潔法を施行せざる部分に多きこと左の如し

| 署名 | 清潔法施行家屋內 | 清潔法施行せざる家屋內 | 署名 | 清潔法施行家屋內 | 清潔法施行せざる家屋內 |
|---|---|---|---|---|---|
| 麹町署 | 〇 | 八 | 日本橋署 | 三 | 一五 |
| 芝署 | 〇 | 二 | 赤坂署 | 〇 | 三 |
| 牛込署 | 〇 | 二 | 本郷署 | 〇 | 三 |
| 下谷署 | 一 | 三 | 深川署 | 三 | 七 |
| 神田署 | 〇 | 六 | 京橋署 | 一 | 一七 |
| 麻布署 | 一 | 二 | 四谷署 | 〇 | 三 |
| 小石川署 | 〇 | 一 | 本所署 | 〇 | 九 |
| 淺草署 | 〇 | 一〇 | 計 | 九 | 九一 |

## ◉近年東京各區虎列剌病患者一覽

本年の虎列拉病は既往の症狀と異りて最初は吐瀉極めて緩漫にして後劇烈なる惡性に增進し昨今に在りては每日十餘名の患者各區に散發せり思ふに梅雨の候を過ぐれば井戸の水變惡すると飮食物の腐敗するに伴ない一時に患者を增すべきは信じて疑はざる所あり即ち別表患者對照表に依るも未だ暑氣に至らざる今日に於て此の如く多數の患者あるとあれば此際各自に於て十分豫防せざれば終には非命の死を招くに至るべし

●●●●●●●●●●●●●●

十五、十九、廿三各年虎列拉患者表

| | 十五年 | 十九年 | 二十三年 |
|---|---|---|---|
| 麹町區 | 二七七人 | 二七三人 | 六三人 |
| 神田區 | 九七八 | 一、六二一 | 四五八 |
| 日本橋區 | 一、〇九一 | 二、三六三 | 四〇四 |
| 京橋區 | 七四四 | 一、五九四 | 四八五 |
| 芝區 | 五五六 | 八三六 | 三一〇 |

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | | |
|---|---|---|---|
| 麻布區 | 九三 | 一五一 | 四六 |
| 赤坂區 | 五八 | 六七 | 二八 |
| 四谷區 | 五八 | 一一五 | 八二 |
| 牛込區 | 一一一 | 一六三 | 一〇八 |
| 小石川區 | 八一 | 一九七 | 四七 |
| 本郷區 | 二九一 | 四五六 | 一二一 |
| 下谷區 | 三一二 | 四九三 | 二〇四 |
| 淺草區 | 五五〇 | 九五三 | 四四四 |
| 本所區 | 三一一 | 七二三 | 二八三 |
| 深川區 | 三六三 | 八〇八 | 三八二 |
| 合計 | 五、八七四 | 一〇、八一三 | 三、四六五 |
| 荏原郡 | 一七五 | 五二五 | 一六一 |
| 東多摩郡 | | 一九 | 四 |
| 南豐島郡 | 五五 | 一〇四 | 四八 |
| 北豐嶋郡 | 一六一 | 二五八 | 五六 |
| 南足立郡 | 一〇九 | 七四 | 七〇 |
| 南葛飾郡 | 一五四 | 三八三 | 一六三 |
| 合計 | 六五四 | 一、三六三 | 五〇二 |
| 總合計 | 六、五二八 | 一二、一七六 | 三、九六七 |
| 死亡數 | 五、〇六三 | 一〇、〇四二 | 三、三〇七 |
| 患者百に付死亡比例 | 七七、五六 | 八二、四七 | 八三、三六 |

## ◉コレラ病豫防上の注意

京橋區撿疫醫佐藤氏は學校、旅人宿、割烹店、工場諸興行場等多人數寄集る處へ左の注意書を印刷して配布したり此注意書の如く實行せば病毒を散亂せず交通遮斷の區域も減して近傍の迷惑も少なかるべし

### 患者取扱便法

(一)ブリキ金盥(大小)二個以上　是は若し嘔吐氣あるものに與へて此中に嘔吐せしめ其の上へ石炭酸水を吐物の倍量程灌ぎ次に示す處の石油鑵に投棄すべし

(二)石油明鑵(大小)二個以上　是は吐瀉物に汚染したる物品、例へは手拭ハンカチーフ、紙等の類)を投棄するの用に供す

(三)石炭酸水(二十倍のもの)二壜以上　是は吐瀉物の量に倍量にして灌きかけるものとす

(四)生石炭二貫目以上　是は患者が若し便所にて吐瀉したる時此石炭一分に水四分を加へて混攪し乳汁樣白色の濁液として便所の内外に撒布すべし

以上は只だ病毒汚染の憂ある物品の散亂を防ぐ一時の急法を示したる迄ゆゑ此法を施すと同時に最寄の醫師に急告し其診察手當を受くることを忘るべからず

## ◉世界第一の撿疫所

今回廣島縣似島に設置する臨時陸軍撿疫所は其規模の廣大なる我國在來の撿疫所即ち五港に設置しある五箇撿疫所を合併したる程ありて五箇の大汽罐を据附け一晝夜内に輙く七千人を撿疫し得撿疫所内に於ける軍隊の運搬等は又皆鐵道にて瞬時間に未消毒所より既消毒所へ運搬する裝置にて成功の上は世界第一の撿疫所と謂ふも敢て不當にあらざるべく常に文明を以て誇りつゝある歐米人をして一驚を喫せしむるに足らんと云ふ

## ◉牛乳と臭氣

牛乳は間々疾病の媒介となると普く人の知る處なるか種々の臭氣を吸收するも亦人の知る所なり若し誠に乳を開放したる器に容れ之に底列並帝那、巴拉賓樟腦阿魏其他强烈なる臭氣ある物を接近して置ときは直に其臭氣を吸收す凡て脂肪は香氣を親和すると極めて强きものなり故に牛乳は決して揮發物の傍に貯ふべからず又病室に置たるものを飲用すべからず必ず密栓を備ふる器に貯へ開放したる器物に滿るは良しからずといふ

## ◉米食と健康

在東京のタイムス通信員の言に曰く日本軍隊の戰地に在て健全無病なるは蓋し職として其食物に由るあるべし獨逸國の國手イ、ベルツ氏は多年米飯に就て學術上の研究をなせし人なるが氏の説に依るに勞働を爲す人に在りて健康を保つは米に愈れるの食物なし然れども勞働せざる人の食としては不消化物たるを免れず是れ日本の勞働社會は筋骨の發育十分に身体强壯にして彼の人力車夫馬丁の如きは數里を疾走して勞苦を感せざるも上等社會の人に至ては体格羸弱にして勞苦に堪へざるを見て知るべしと此説果して眞ならんか米穀は特に健康を保つに利あると共に運輸に至便なる無比の軍隊用食物と謂ふべきなり

## ◉大日本婦人衛生會景決

去六月二日午後二時より麹町内山下町華族會館に於て例會を開き會者七十余名一時三十分より醫學士甲野棐君先つ(眼鏡及眼の保護器に就て)次に醫學士三浦謹之助君(遺傳に就て)講せられ午後四時半散會せり

## 廣告

◉去六月より七月に至る入會者左の如し

◉會長仁禮すか子の紹介により

麹町下二番町三番地　特別會員　山本綱子

麻布廣尾町三十三番地通常會員　男爵夫人　井上光子

◉通常會員木村ふみ子の紹介により

本郷湯島梅園町二番地　通常會員　長谷川蝶子

◉通常會員後藤雪子の紹介により

神田駿河臺東紅梅町十七番地　岩﨑早苗子

## 廣告

芝公園第十五號　大江小苗子
◉通常會員酒井錆子の紹介により
赤十字社病院　的場光子
◉幹事鳩山春子の紹介により
本郷弓町一丁目十四番地
通常會員　菊池たつ子
◉幹事坪井くに子の紹介により
本郷西片町十番地ろ十六號
通常會員　岡澤和賀子
芝慈惠病院
通常會員　小久保房子
◉通常會員足立清子の紹介により
湯島天神町二番地梅園
通常會員　長谷川てう子
芝公園八號
通常會員　吉田よし子
◉事務所へ申込により
日本橋區蠣売町一丁目四番地
通常會員　中村比天子
神田駿河臺北甲賀町五番地櫻井方
通常會員　小出美禰子
竹橋中央氣象臺官舍
通常會員　馬場きく子
日本橋區濱町二丁目十三番地　金杉松子
◉通常會員篠原さだ子の紹介により
麹町代官町一番地中央氣象臺テレッケー方

通常會員　田崎八重子
◉通常會員田村長子の紹介により
日本橋藥研堀町二十九番地
通常會員　富安てう子
◉通常會員大石から子の紹介により
第一醫院　梅林司とよ子
◉同鈴木まさ子の紹介により
神田錦町一丁目二番地鈴木方　後藤ちよ子
◉副會長濱尾作子の紹介により
牛込天神町廿一番地　通常會員　青木すみ子
牛込赤城下町三十九番地
通常會員　瀬川雪子
◉評議員片山龜子の紹介により
小石川茗荷谷八十一番地
通常會員　笠井梅野子

### 轉居

神田錦町三丁目二番地へ　鈴木雅子
麹町霞關一丁目一番地へ　呉こと子
麹町平川町二丁目二十五番地へ　松本梅子
芝綱町十番地へ　齋藤はる子
本所外手町八十三番地へ　三穗のふ子

# 私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込める可し
　但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て終身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす
　但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金三圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を賛成する者は之を賛成員とす尤も會費は本會員に同し
　但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身賛成會員(無會費)とすること有る可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皇族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く　會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず
　但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る
　但幹事の分課を設けて第一　會計　第二　編輯出版　第三　庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外毎月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　每會學識經驗ある者を聘し講義演說を囑し本會々員の演說と共に之を筆記して本會雜誌に揭載し每月各一冊づゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす
　但し演說の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　本會々員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々塲に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　講義演說の際男子の傍聽を禁ず
　但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす
　但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

務所に引出置を得

第十九條 會計の收支は總て會計課幹事の撿印を要す

第二十條 會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條 會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し

但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

第廿二條 入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條 毎年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す

但至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すとを得

（以下次號）


東京市麴町區飯田町壹丁目八番地
（九段坂下）
醫科大學第一醫院卒業

産婆 船曳みき子
看護婦

◉御依賴に應早速差出し可申候

院長 醫學士 增田知正

婦人科
産科

外來診察毎日午前八時より正午迄入院並に遠近往診共隨時申込を受手術は大小を論ぜず之を施行す

産婆は何時にても派出の需に應ず

東京神田區駿河臺袋町十三番地
（小松宮樣前）

東京産科婦人科病院



明治廿八年七月三日印刷
明治廿八年七月五日發行

發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衞生會

編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中徳三郎

印刷者 同 神田區小柳町十三番地 小高良造

印刷所 同 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可 第一金曜日發行

（定價金拾錢）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN